

飲食サービス部門のCT推計の課題（メモ）

1 飲食サービスの動向（平成 23 年～27 年の伸び）

- (1) 総務省「サービス産業動向調査」 : 107.6%
注：平成 24 年～27 年間の年平均増加率（1.85%）を基に試算。
- (2) (一社) 日本フードサービス協会「外食産業市場規模推計」 : 110.9%

2 推計作業の現状と課題

【案の 1】新規の組替集計表（30 表）を使用

	平成 23 年 (100 万円)	平成 27 年 (100 万円)	H27/H23
飲食サービス	25,256,354	21,600,731	0.855
飲食店	...	18,992,294	...
持ち帰り・配達飲食サービス業	...	2,608,437	...

注：30 表は、全国 1 本ではなく、都道府県別の結果を積み上げて集計。

【案の 2】平成 23 年表と同様の手法（019 表を用いて従業者数データから補完）

売上が把握された事業所の売上

× 従業者総数（売上未把握分を含む。） / 売上が把握された事業所の従業者数

	平成 23 年 (100 万円)	平成 27 年 (100 万円)	H27/H23
飲食サービス	25,256,354	25,322,508	1.003
飲食店	...	22,209,522	...
持ち帰り・配達飲食サービス業	...	3,112,986	...

単位：100 万円

	経済センサス活動調査（組替集計）_019表					
	主業 (センサス調査票裏面の売上)			副業 (センサス調査票表面の22区分売上)		
	H24	H28	H28/H24	H24	H28	H28/H24
飲食サービス	13,287,682	18,035,031	1.357	3,707,646	1,618,105	0.436
飲食店	...	15,779,944
持ち帰り飲食サービス	...	425,634
配達飲食サービス	...	1,829,453

注：平成 28 年センサスの組替集計結果（019 表）を詳細にみると、主業分は増加しているものの副業分は大幅に減少（0.436）。

3 対応案

案の 1 及び 2 の推計方法では、平成 23～27 年の動向を適切に反映できないため、経済センサス-活動調査の結果を基本としつつ、他統計を用いた調整等を行って推計